



田瀬ダムの役割・効果



洪水調節

台風などによって上流部に雨が降り注ぐと、その雨は川に集まってきます。ダムはその水の一部分を貯め、下流へ流れる水の量を少なくする調節を行います。その結果、川の水位の上が抑えられ、また洪水が起きた場合でも、その継続時間を短縮させることが可能になります。田瀬ダムは他の北上川5大ダムとともに洪水調節を行い、洪水の被害軽減を行っています。

発電

田瀬ダムから取水された水は、電源開発株東和発電所にも送られています。岩手県下第3位の発電規模を誇り、年間112,000千kWの電力量をつくり出しています。

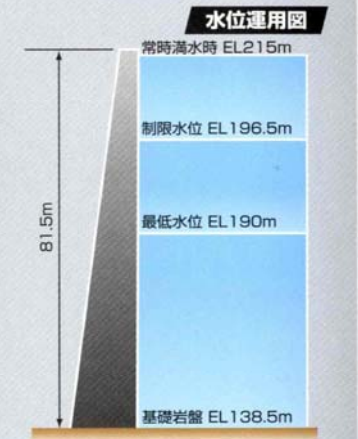
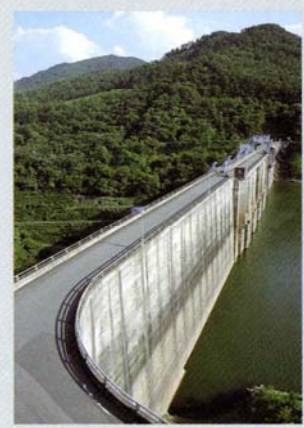
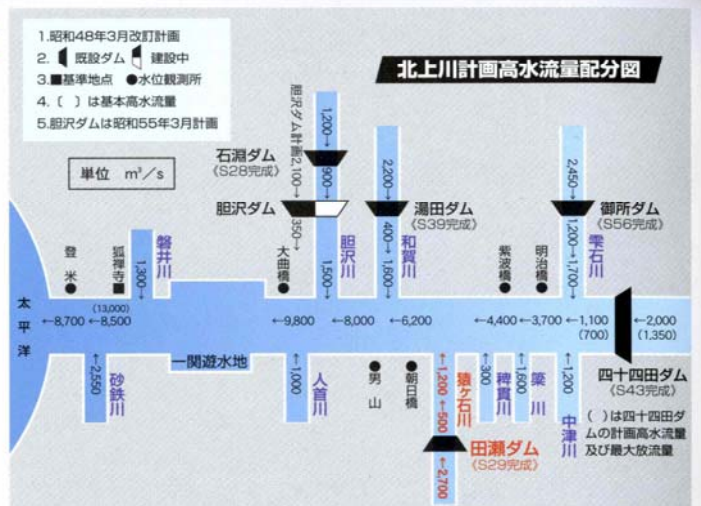
かんがい

北上川左岸の江刺・稗和東部地区（花巻市・北上市・江刺市・東和町・石鳥谷町）にかんがい用水を供給。9,440.96 ha（新規開田含む）に及ぶ広大な耕地に供給するため、ダムから47,100千m³の水を取水。農業経営の安定と合理化を計っています。

- 最大取水量 9.0m³/s (江刺5.5m³/s 稗和3.5m³/s)
- 平均取水量 5.0m³/s (江刺3.0m³/s 稗和2.0m³/s)

湖面利用

昭和63年度からレクリゾート事業として、田瀬湖畔の5箇所（ダムサイト地区、横峰地区、向田瀬地区、白土地区、柏木平地区）に水辺空間を整備しています。平成15年度のダム湖利用実態調査では、約8万人の方が田瀬湖周辺を利用している結果となっています。



江刺市の田園風景